

<研究名称>

回腸導尿増設後の尿培養および尿管ステント抜去後の有熱性尿路感染症に関する検討

<実施責任者及び実施担当者>

泌尿器科部長 宮本 慎太郎

<研究期間>

2015年1月～2023年5月の診療録を調査した後方視的検討

調査期間は、承認日より2024年3月31日とする

<診療・研究の目的>

現行の方法としてからの尿培養結果および使用した抗菌薬、有熱性尿路感染症発症の発症率を調査し、その有熱性尿路感染症予防についての効果、妥当性を検証する。後方視的研究である。

<実施内容（方法）>

本研究は、回腸導管造設術を施行された症例を対象とした介入を行わない観察研究である。本研究は、登録された研究対象者の一般診療による診療録を用い、その情報のみを調査する。

<危険性（副作用）等>

治療や検査は、全て通常診療で行われており、その診療録の記録に基づく介入を行わない観察研究である。したがって、対象症例に対する危険を含まず、対象症例のデータは匿名化されるため、対象症例の不利益となることはない。

<倫理上問題になると考えられる事項>

特になし

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ  
〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 TEL：0166-22-8111、FAX：0166-24-4648